



## 空飛ぶクルマ社会実装検討事業・事業環境検証委託業務

【（登壇資料）ヘリコプターを活用した実証実験 実施報告】

合同会社デロイト トーマツ

2026年3月18日

# 目次

## 1. 実証実験の実施概要

### 1. 目的・概要

## 2. 実証実験の検証対象・ユースケース

### 1. 検証観点・項目

### 2. 実証実験対象ユースケース

## 3. 実証実験の実施報告

# 目次

## 1. 実証実験の実施概要

### 1. 目的・概要

## 2. 実証実験の検証対象・ユースケース

### 1. 検証観点・項目

### 2. 実証実験対象ユースケース

## 3. 実証実験の実施報告

# 本実証実験においては、過年度において検討を実施した山梨県において有望と想定されるサービスを対象に、サービスの有用性や実現可能性、持続可能性等の検証を実施

## 実証実験の目的・概要

### 実証実験の目的

過年度事業を通じ検討・策定した山梨県内において有望と想定されるサービスに関して、空飛ぶクルマの飛行を模したヘリコプターを用いて、サービスとしての有用性や実現可能性、持続可能性等の観点に基づき蓋然性（確からしさ）について検証を行う

※加えて、以降の空飛ぶクルマの試験飛行等を見据え、有用なデータ類の収集・整理を実施



### 実証実験における検証対象サービス

過去、山梨県において検討・策定した有望と想定されるサービスの内、特に山梨県の地域特性や空飛ぶクルマの活用に向けた思いを反映する（＝県としての検証意義がある）サービスを検証対象として設定

サービス	概要	利用者イメージ
① リニア×空飛ぶクルマ（二地点間飛行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア山梨県駅を拠点に、<b>県内外エリアを結ぶ移動網を構築</b></li> <li>県内回遊性の向上を実現し、<b>経済便益最大化や魅力向上を図る</b></li> </ul>	来県者・県民間わず幅広い層
② 地域交通（二地点間飛行）	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>交通空白地帯と交通の要衝等を結ぶ移動網を構築</b></li> <li>交通空白地帯を解消することで、<b>魅力・競争力の向上を図る</b></li> </ul>	特に日常生活における移動手段が充実しないエリア等の在住者

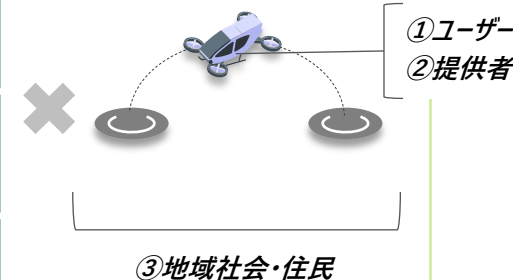
※その他観光遊覧等のサービスも有望と想定も、本実証実験における検証の対象外とする

### 主な検証観点

検証対象サービスがサービスユーザー・提供者等の目線で実装・提供意義のあるものであることを検証することを念頭に、検証観点を設定

サービスの蓋然性の検証観点	
<b>有用性</b>	✓ 検証対象のサービスは利用者や山梨県にとって意義のあるものであるか？（サービスの提供価値を享受でき得るか？）
<b>実現可能性</b>	✓ 検証対象のサービスは現時点で需要が見込まれ、且つ安全なオペレーションが遂行可能か？
<b>持続可能性</b>	✓ 検証対象のサービスは、広く社会に受け入れられ、且つビジネスとして持続可能な利益を出すことができるか？

関連ステークホルダー



# 目次

## 1. 実証実験の実施概要

### 1. 目的・概要

## 2. 実証実験の検証対象・ユースケース

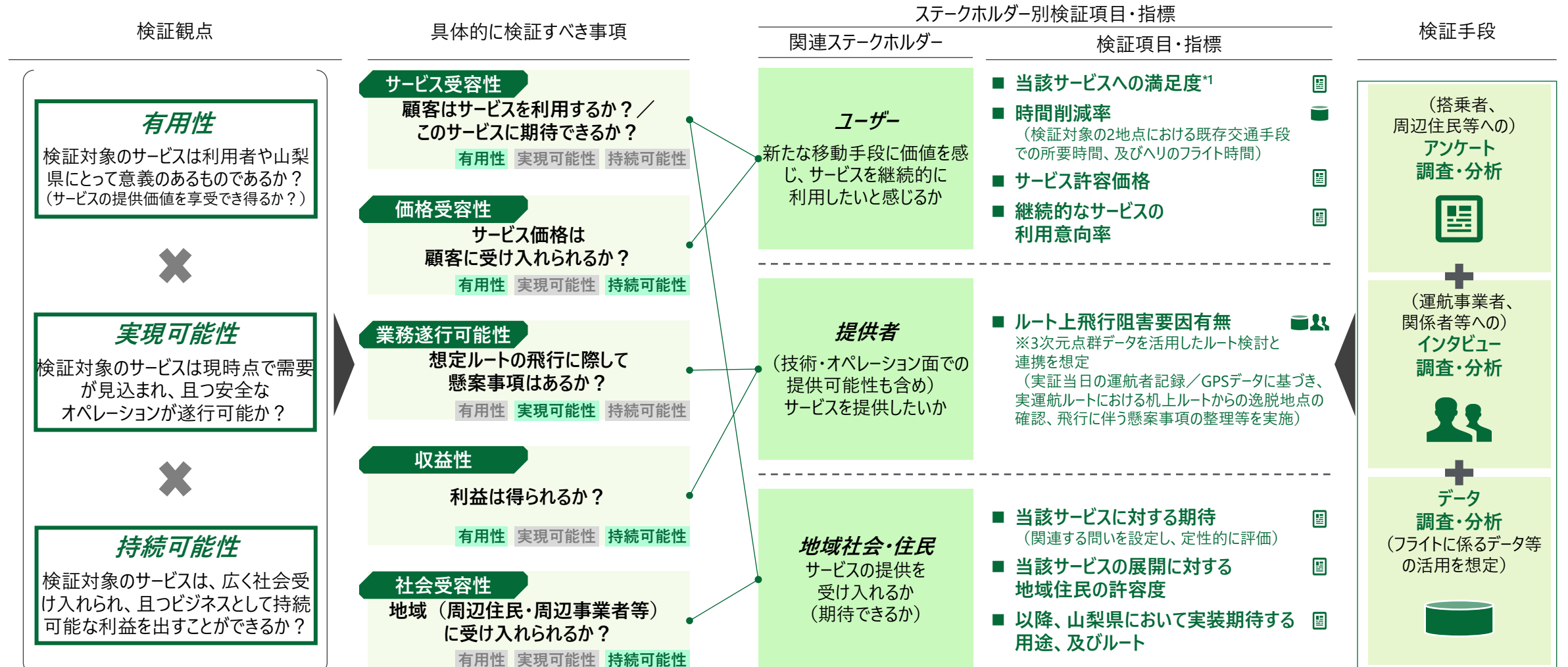
### 1. 検証観点・項目

### 2. 実証実験対象ユースケース

## 3. 実証実験の実施報告

# 本実証実験においては設定した検証観点に基づき、ステークホルダー（ユーザー／運航者／地域（行政・住民））ごとに検証項目を設定し、検証対象サービスの蓋然性について検証を実施

## 実証実験における検証観点・項目



\*1：選択式の設問に加えて、（よかった点／悪かった点を含む）回答を選んだ理由等についての設問を用意し、アンケート回答者の回答を定性的に深掘りする想定

# 目次

## 1. 実証実験の実施概要

### 1. 目的・概要

## 2. 実証実験の検証対象・ユースケース

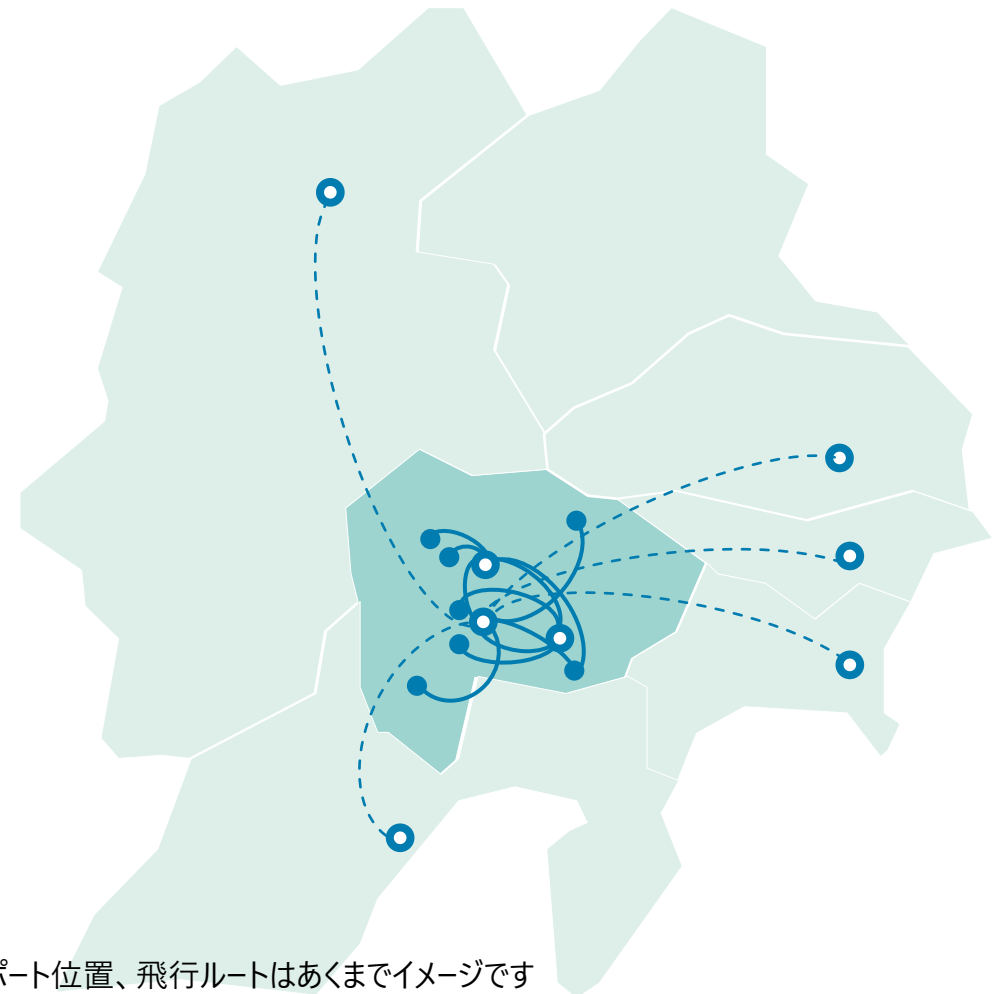
### 1. 検証観点・項目

### 2. 実証実験対象ユースケース

## 3. 実証実験の実施報告

# ビジネス・観光用途横断での当該サービスは、広く県内主要都市間にて住民や来県者等の新たな移動網として想定され、迂回等が不要で人の往来が活発化する等の提供価値を想定

## 検証対象サービス概要①：リニア×空飛ぶクルマ（二地点間飛行）



※ポート位置、飛行ルートはあくまでイメージです

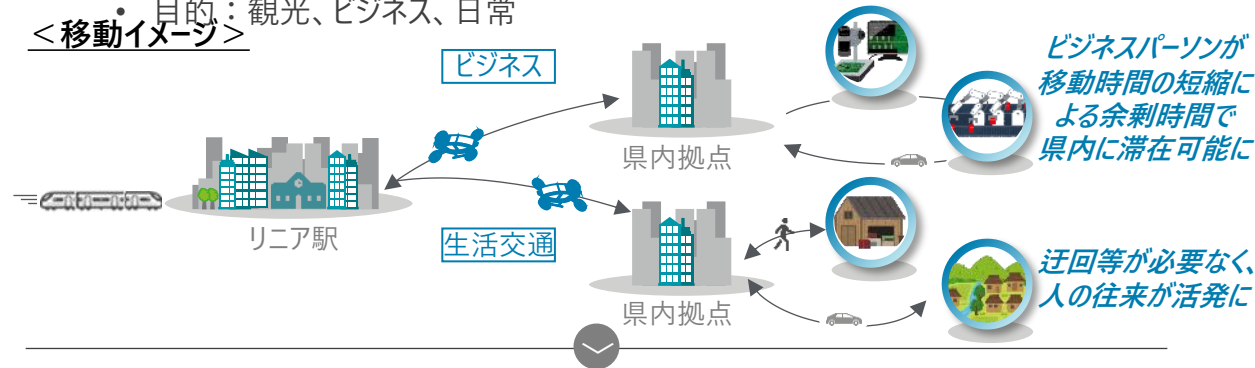
### リニア×空飛ぶクルマ（二地点間飛行）

- リニア山梨県駅を拠点に、観光、ビジネス、日常利用を目的として、富士北麓エリア等を中心に県内外エリアの交通の要衝等を結ぶ新たな移動網を構築
- リニアと空飛ぶクルマを活用して、県内の回遊性の向上を実現し、また、交通空白地帯等を解消することで、山梨県への経済的な便益の最大化や地域の魅力向上を図る

#### <主な利用者イメージ>

- 移動にコストを掛けられる層（一部観光客等）／新たなサービスへの感度が高い層（拡大期）
- 来県者・県民問わず幅広い層（成熟期）
  - ・ ユーザー属性：県内の住民、県内外の観光客、ビジネスパーソン 等
  - ・ 目的：観光、ビジネス、日常

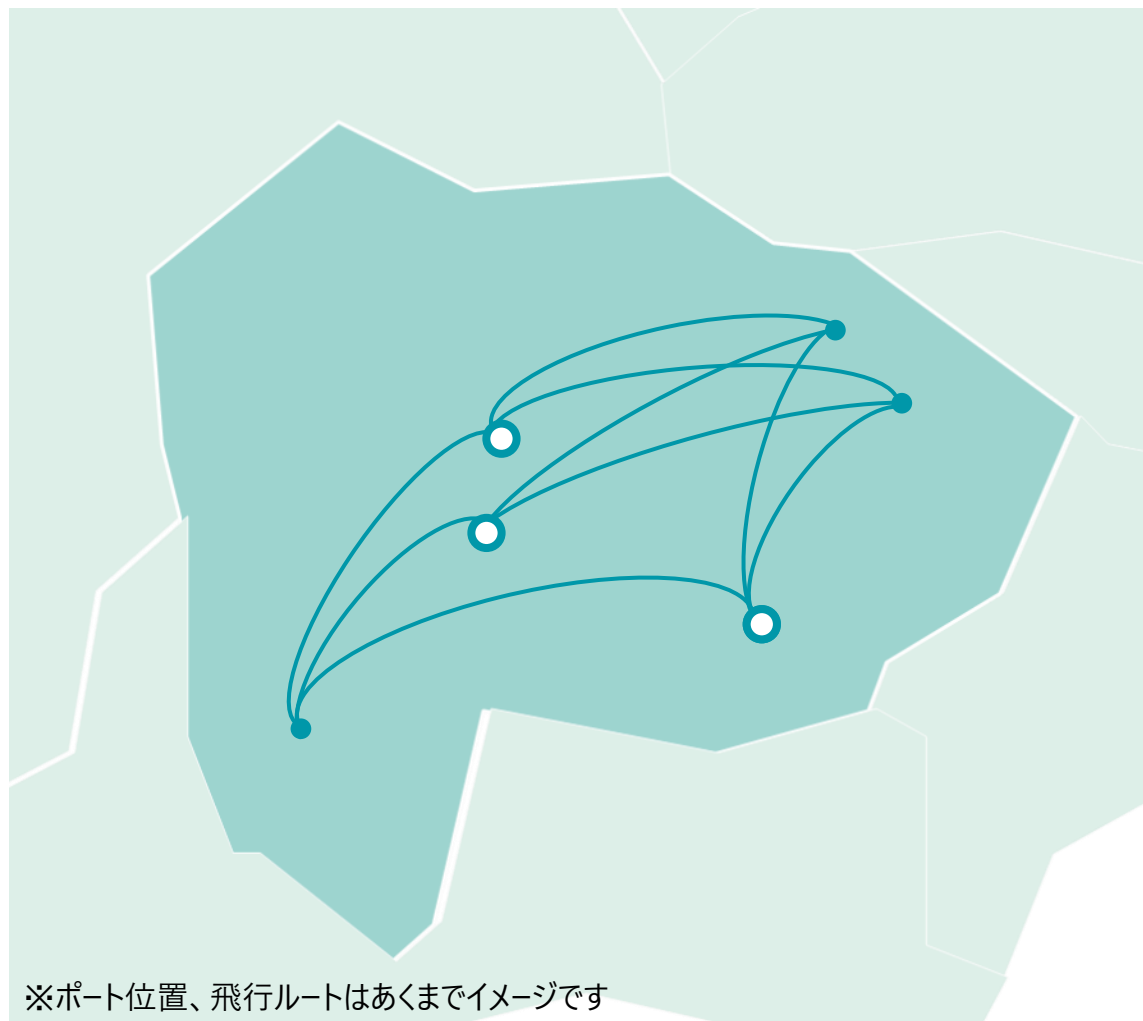
#### <移動イメージ>



提供価値		付加価値	
新たな移動体験・観光体験の提供・交通空白地の解消	移動時間の短縮（県内の回遊性の向上）	地域としての魅力・競争力の向上	交流人口の増加（経済活性化）

# 県内の中心地、及び県内各地を結ぶ移動の足（地域交通）としての活用を見込み、特に交通空白地帯の解消等を目的として地域交通分野での中長期的な活用の方向性として想定

## 検証対象サービス概要②：地域交通（二地点間飛行）



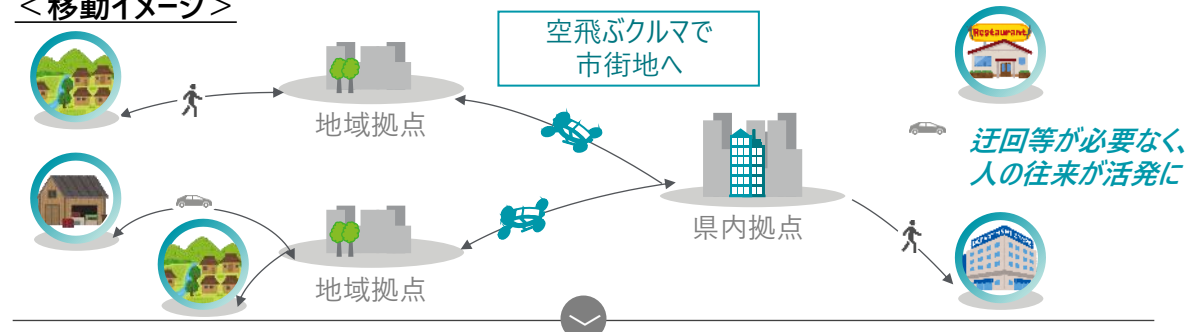
### 空飛ぶクルマ（地域交通）

- 交通手段の少ない市町村と、県内エリア（峡南エリア等）の交通の要衝等を結ぶ新たな移動網を構築
- 県内の交通空白地帯等を解消することにより、地域としての魅力・競争力の向上を図る

#### <主な利用者イメージ>

- 特に日常生活における移動手段が充実しないエリア等の在住者
  - ユーザー属性：県内の住民
  - 目的：日常、その他

#### <移動イメージ>



#### 提供価値

交通空白地帯の解消

#### 付加価値

地域としての魅力・競争力の向上

# 目次

## 1. 実証実験の実施概要

### 1. 目的・概要

## 2. 実証実験の検証対象・ユースケース

### 1. 検証観点・項目

### 2. 実証実験対象ユースケース

## 3. 実証実験の実施報告

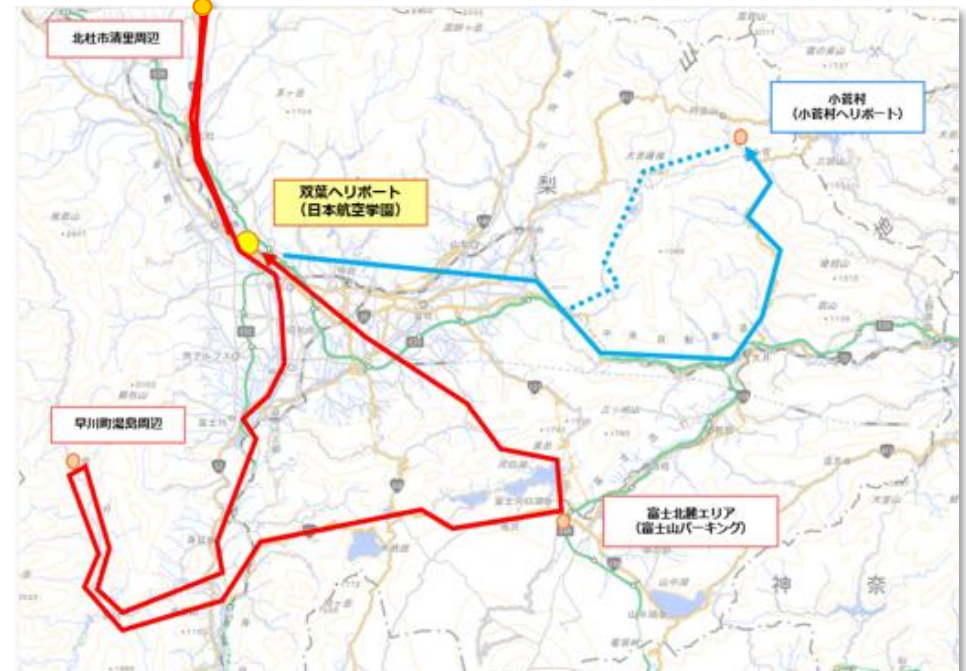
# 前段で説明した有望と想定されるサービスに基づき令和8年 3月11日にヘリコプターを活用したサービスの蓋然性検証（実証実験）を実施

## R7空飛ぶクルマ社会実装検討事業・ヘリコプターを用いた実証実験概要

### 業務概要

### 飛行ルート

<p><b>日程</b></p>	<p>3月11日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 第1フライト 11:00-12:35（95分）</li> <li>✓ 第2フライト 13:35-14:45（70分）</li> </ul>
<p><b>場所</b></p>	<p>双葉ヘリポート（日本航空学園）</p>
<p><b>業務目的</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 過年度事業を通じ検討・策定した山梨県内において有望と想定されるサービスに関して、空飛ぶクルマの飛行を模したヘリコプターを用いて、サービスとしての有用性や実現可能性、持続可能性等の観点に基づき蓋然性（確からしさ）について検証を行う</li> <li>※加えて、以降の空飛ぶクルマの試験飛行等を見据え、有用なデータ類の収集・整理を実施</li> </ul>



- |  |   |
|--|---|
| <p><b>第1フライト（総飛行距離：約210km）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 双葉ヘリポート</li> <li>✓ 北杜市（清里周辺を通過）</li> <li>✓ 早川町（湯島ヘリポート周辺を通過）</li> <li>✓ 富士北麓（富士山パーキング周辺を通過）</li> <li>✓ 双葉ヘリポート</li> </ul> <p>※塩川、富士川、早川の河川上空を飛行<br/>         ※国道300号上空を飛行し富士山方面へ飛行</p> | <p><b>第2フライト（総飛行距離：約160km）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 双葉ヘリポート</li> <li>✓ 小菅村（小菅村ヘリポート周辺を通過）</li> <li>✓ 双葉ヘリポート</li> </ul> <p>※国道20号に沿う飛行<br/>         ※天候次第で山間地特有の峠を越えた飛行</p> |
|--|---|

END OF DOCUMENT